

第36回神奈川県麻雀競技大会ルール

(全国麻雀段位審査会競技規定に基づく神段審ルール)

1. 全局を1翻縛りとし、2翻場とする。
2. サイコロはすべて1度振りとする。
3. 持ち点は3万点とし、加減法を採用する。
4. 形式テンパイを認める。
5. ありありルール（食いタン・中ツケ・後ツケあり）。
6. フリテンリーチを認める（ただし、ツモアガリに限る）。
7. リーチ発・裏ドラ・カンドラ・カン裏ドラ——すべてあり。
8. 親がテンパイなら連荘とする。
九種倒牌・四風連打・四槓子による流局も連荘とする。
チョンボ（親・子とも）も親の連荘とする。
9. 2人または3人の同時アガリはなし、アガリは上家優先とする。
10. 4人リーチは流れない。
11. パオは、大三元の3種類目の三元牌をポンさせたとき、また四喜和・清老頭・字一色・緑一色の役満を最終的に決定づける牌を副露させたとき。ツモアガリの場合はパオ打牌者の1人払いとし、放銃の場合は放銃者とパオ打牌者の均等払いとするが、積み場があれば放銃者が支払う。
12. 積み場は1本場につき300点。
13. ノーテンは親流れ。オーラスで親がノーテンなら、ゲーム終了とし、リーチ棒・罰符はトップ取り（トップ者がもらう）とする。
14. リーチ後の暗槓は、牌姿が変わらなければならない。
15. リンシャンカイホウ（嶺上開花）はすべてツモ扱いとし、ツモ符2点を加える。
16. 30符6翻は満貫とする（親12,000点、子8,000点）。8翻でハネ満、10翻で倍満、13翻で3倍満、役満は4倍満とし、ダブル役満・数え役満はなしとする。
17. チョンボは満貫分の支払いとする。
18. 次の行為をした者はアガリ放棄——多牌・少牌・先ツモ・誤副露・他家の手牌やワンパイ（王牌）を見た者・手牌の一部か全部を公開した者。
19. 次の行為をした者は1,000点の罰符——ポン・チー・カンの発声後、打牌の前にその行為を中止したとき。
20. ワンパイ（王牌）は常に14牌とする。
21. 先ツモは厳禁。邪魔ポンや明らかに遅いポン・ロンも不可。
22. チートイツ（七対子）は25符2翻（基本点は親2,400点、子1,600点）とする。
23. ポン・チー・カン・ツモ・ロン・リーチは、必ず対局相手に聞こえるように明確に発声すること。
24. 「食いピンフ」は採用しない。
25. 加減法の順位点は下表の通りとし、持ち点30,000点以上を勝ちとする。

	1 位	2 位	3 位	4 位
1人勝ち	+12点	-2点	-4点	-6点
2人勝ち	+8点	+4点	-4点	-8点
3人勝ち	+6点	+4点	+2点	-12点

競技大会マナー表

- 先ヅモは禁止です。著しい場合はアガリ放棄とします。
 - 対局中の私語は禁止です。
 - 姿勢よく摸打してください（頬杖、脚組みなど禁止）。
 - 捨て牌は6枚3段切り。
 - 対局が遅滞しないように心がけてください。
 - 牌山は、トイメンの人がツモりやすいように全体を少し前に出し、さらに右手側を少し余分に前に出して、切り込みは入れません。リンシャン牌は下ろしておいてください。
 - 親は、全員の配牌完了とドラ表示を確認した後に第1打牌をしてください。
 - 摸打には、利き腕だけを使います（両手を使ってはいけません）。
 - 掌中に牌を握ったまま摸打してはいけません。
 - リーチ者は、はっきり分かるようにツモ切りしてください。
 - リーチや、待ちが裸単騎であっても、手牌を伏せてはいけません。
 - ポン・カンをする場合は、ただちに発声します。
 - チーをする場合は、1テンポおいてから発声します。
 - 暗槓は、4枚の牌をすべて見せてから2枚を裏返します。
 - 打牌の強打や、相手に対する威嚇行為をしてはいけません。
 - 対局中は禁煙とします。休憩時間の喫煙は所定の場所をお願いします。
 - 対局中、携帯電話は電源を切るかマナーモードにして、通話・メールはしないでください。
 - 対局前に「よろしく申し上げます」、対局後に「ありがとうございました」のあいさつをしましょう。
 - トラブルの場合や、何か疑問のある場合はスタッフをお呼びください。審判員が裁定を下します。
-
- ◆点数計算がよくできない方もいらっしゃいますので、対局者は親切に教えてあげてください。
 - ◆アガった人が裏ドラを確認する前に牌山を崩さないようにご注意ください。故意に崩した場合、ペナルティーを課せられることもあります。
-
- ※マナーがあまりにも悪い場合は、その場で失格になることもありますので、あらかじめご承知おきください。

裏面にルール

神奈川県麻雀段位審査会